

仏教歳時風物詩 (6)

盆施餓鬼の孝養

新宿区 香蓮寺住職

勝崎 裕彦 上人

俳

諸では、盆や施餓鬼は秋の季語として。陰暦七月、初秋の時候と定めてのことである。盆施餓鬼、あるいは施餓鬼の言葉があるように、孟蘭盆会と施餓鬼会は同じような信仰心、供養心を重ねて営まれてきたことでもある。それは一切の先亡の精霊へ向けてのはるかなる追善供養の営みであつたからである。

今は亡き父母や祖父母、さらには遠くはるかなる先祖の精霊を迎えて、現に生き生かされている私たちが家族揃つて心を込めて祈り願う孟蘭盆会。

一方、施餓鬼会は無縁の亡者に心を広げて、その在りしいのちを尊く思う営みである。今、こうしてどうにかこうにか拙い生活をさせていたでいて、自分自身のことを考えるにつけても、すでに亡き父母、祖父母をはじめ、多くの有縁無縁の精霊に守られてきたことを、心から思わずにはいられない。おのずから手を合わせ、頭を下げて、感謝の心を捧げるのである。

孟蘭盆会といわれについては、西晋竺法護訳『孟蘭盆経』の所説がよく知られるところである。仏十大弟子の一人、神通第一の目連尊者が、餓鬼道に墮ちて苦しんでいる亡き母の精霊を救おうとして孝養の心を尽くす物語に由

来するのである。それは、安居の修行期間（普通には、陰暦四月十六日から七月十五日までの雨季一夏三カ月九十日間）の最終日である僧自恣の日（修行の終わりに僧侶たちが反省し、懺悔し合う日）に、飲食などの布施をして、

心からの供養をいたすように、という仏の教えから出発したのである。「仏弟子よ、孝順を修めるには、……孟蘭盆を作して、仏及び僧に施し、以つて父母長養慈愛の恩に報いよ」という教えを、目連尊者の故事に倣つて、私たちは今に受け継ぐのである。

また施餓鬼会は、唐不空訳『救拔焰口餓鬼陀羅尼経』の教えによつて、いつも口から炎を吐いて、ものを食べることもできない、飲むこともできない

焰口餓鬼を救いと、飲食を食べて飲んでもらうための神呪・陀羅尼を説く經典である。仏の論しに従つて、餓鬼亡者に対して飲食を心から供養する多聞第一の仏弟子、阿難尊者の故事に由来するところである。食べ物や飲み物の大切なことは言うに及ばず、いのちの尊さを餓鬼亡者のありように託して示そうとする施餓鬼会の意味を重く受けとめたい。

孟蘭盆や無縁の墓に鳴く蛙
孟蘭盆や東京にある妻の墓

(子規)
(龍男)

施餓鬼はやその飲食の乾きつつ (拾翠)

正岡子規の句には、盆施餓鬼供養の心配りを尽くして、無縁仏へのやさしい祈りが込められている。大岡龍男の句は、いとも素直に中七、座五を置いたかのようなのであるが、そこには今は亡き最愛の妻への強く深い愛情が刻まれている。角田拾翠は、季節のものはじめとするたくさんの品々が供えられた施餓鬼棚に目を向けている。供養の食べ物乾き切つて行くという描写の中には、すでに一切の餓鬼の亡者たちが喜んで食べ終え、飲み終えたことを伝えているのであろうか。

おぼん行事は、目連尊者の亡き母への孝養心からはじまったが、經典の中でも、母から父母へ、そして多くの先祖の供養へと広げられている。おせがき行事は、阿難尊者の営みに導かれて、有縁無縁のあらゆる亡者に向けて、慈しみ悲れむ慈悲の心を広げている。

おだやかだった父、やさしかった母。慈父への思い、悲母への思いを、「お父さん」「お母さん」と声を出して呼びかけてみる。まさに、「盆施餓鬼父母想う心の法会かな」である。孝養の心に慈悲の心を添える盆施餓鬼である。

(大正大学教授)

第46回念仏と法話の会 2月13日(金)



法要の様子。

平成21年 春彼岸法要 3月20日(金)



郡上物産展、太王漆器展、螺鈿展を開催。初の試みでしたが、盛況裡に終えることができました。

増上寺 御忌詠唱奉納大会 4月3日(金)



梅窓院詠唱会の皆様詠唱とお舞を奉納しました。

お盆 七月十三日(月)

盂蘭盆会法要 — 午前十時半〜 本堂

御棚経 七月十三日〜十六日

※新盆で希望する方のみ

なお、棚経については同封の別紙「お盆について」をご覧ください。また、不明な点がありましたら梅窓院法務部へお問い合わせ下さい。

お盆・お施餓鬼によせて

皆様、暑い季節がやっていますがいかががお過ごしでしょうか。

さて、今年もお盆・お施餓鬼の時期がやってきました。私の自坊があります青森津軽の夏といえぱ！とお祭り好きの方に尋ねると「ねぶた祭り！」と答えていただけることでしょう。現に私もその種の人間なのですが……。

青森ねぶた祭りは八月二日から七日まで行われるお祭りです。この祭りの由来をたどってみると、お盆の行事の灯籠流しの一種だと考えられています。ねぶた祭りも最終日の八月七日にはねぶた人形を川や海へ流すという習わしがあります。この灯籠流しは

お施餓鬼 七月二十一日(火)

施餓鬼会法要(塔婆回向) — 午前九時〜 祖師堂

※塔婆のお申込み状況により、時間は変更する場合があります。

別時念仏会／半斎供養 — 午前十一時〜 本堂

お斎しん(お食事を頂きます) — 午前十二時〜 観音堂

御説教 — 午後一時〜 祖師堂

講師 佐賀教区 鏡智院住職 中村 一之上人

大施餓鬼会法要 — 午後二時〜 祖師堂

※長時間に渡る法要ですので、途中からの参加も可能です。

※塔婆回向(お名前の読み上げ)は午前九時からの法要で行います。

※全ての法要終了後にお塔婆をお渡し致します。

送り火の一種だそうです。お盆の入りの日に「迎え火」を焚いてご先祖様をお迎えし、お盆の期間中にご供養をして明けの日に「送り火」を焚いてご先祖様をお送りする。というもので、東京では今はあまり見られませんが、地方では現在も家庭の玄関先やお墓の横で焚かれています。

このように、各家庭で行われるものから、地域社会の行事として京都の大文字焼きに代表される山の送り火や、最初に紹介したねぶた祭りなどの海の送り火があります。

こうして、仏事がお祭りとして浸透しているのがご先祖様の霊をお送りするという意味と、生かされていくということへの感謝の気持ちを再確認して日々の生活を歩んでまいりたいものです。(法務部)

「せがき子どもひろば」のご案内

本年もお施餓鬼の当日、梅窓院内に「子どもひろば」を設けます。保育士による絵本の朗読や、折り紙遊びなどを予定しております。是非この機会に、お子さまと一緒に参加ください。



昨年のこどもひろばの様子

※子どもひろばに関する

お問い合わせは青山文化村まで。TEL 03-3404-8588

回向料のお申込み方法とお知らせ

◆お盆回向お申込み方法

回向紙 御回向料 …… 1枚 / 3,000円

- ・同封の回向紙にご記入の上、受付へお持ち下さい。
- ・一枚につき、一霊のご回向とさせていただきます。

御塔婆 御回向料 …… 1本 / 7,000円

- ・お塔婆をご希望の方は、直接受付までご連絡下さい。

◆施餓鬼塔婆お申込み方法

御塔婆 御回向料 …… 1本 / 10,000円

- ・同封のハガキにご記入の上7月7日(火)必着でお申込み下さい。
- ・施餓鬼会法要に参加される方は、出席人数も合わせてご記入下さい。(当日、出席人数分のお弁当をご用意致します。)
- ・御回向料は、同封の振込用紙で郵便局にてお支払頂くか、受付までお持ち下さい。(銀行・コンビニでのお支払いは出来ません。)

無量山 傳通院 壽経寺

浄土宗

今回は、徳川家康が生母、於大おだいの方の菩提所としたことで、その法号により、傳通院でんづういんと呼ばれるようになった文京区小石川の名刹を、過去最高の6人のお檀家編集部員で訪れました。



傳通院の開山となる聖岡上人しやうがいの木像の前に、その足跡を説明される上人。



歴代上人の墓が並ぶその中央のひときわ大きな墓石が聖岡上人の墓(写真右下)で、その前にはあちこちへこんだ大きな石(写真左)が。これは聖岡上人の博覧強記にあやかろうと後世の学僧が念仏を称えながら、この石を叩いた跡だ。



浄土宗が江戸時代に全国各地に広まったのは、徳川家康が増上寺をその菩提所としたことから始まりまし

た。その増上寺は東の大本山として別格ですが、増上寺を除く十八檀林(注1)の中では、この傳通院が飛びぬけて大きく由緒ある寺です。

もともとは一四一五年(応永二十二年)に了誉聖岡上人が現在地より少し離れたところに、無量山寿経寺という草庵として開かれました。聖岡上人は浄土宗をひとつの宗として基礎を整え、浄土宗の第七祖となった高僧です。

それからおよそ二百年後、徳川家康が生母、於大の方の墓所について増上寺の観智国師に相談したところ、今は荒れている聖岡上人の草庵を再興し、そこを菩提所としたらという勧めにより、寺号を母の法号の傳通院とし、境内十萬坪、御朱印六百石、学僧千人という増上寺に次ぐ、浄土一宗の教学道場となりました。

た。

しかし、江戸時代の享保の火事での全焼に始まり東京大空襲での焼失まで、今日までに実に四回の火災に遭い、数えきれない寺宝や伽藍を失いました。傳通院となった時から現在まで残るのは、於大の方の位牌と徳川家に縁のある多くの女性のお墓だけです。

現在の傳通院は戦後の昭和期に再興した鐘楼堂、書院、新本堂や会館を開放し、文京区の名所として多くの人々に親しまれています。

本尊様の御前で念仏を称えました。



- 東京メトロ 丸ノ内線 … 後楽園駅より 徒歩10分
- 東京メトロ 南北線 … 後楽園駅より 徒歩10分
- 都営地下鉄 三田線 … 春日駅より 徒歩10分
- 都営地下鉄 大江戸線 … 春日駅より 徒歩10分
- 都バス(錦糸町〜大塚) … 傳通院前より 徒歩1分
- 首都高速 … 西神田出口 飯田橋安藤坂前

(注1)十八檀林は江戸時代浄土宗僧侶を育成した関東の十八のお寺をいう。



傳通院本堂の前に並び、お檀家編集部員と編集部のメンバーは左から

上人との記念写真。さん、お上人をはさんで、

さん、

さん、

さん、

さんの6人でした。

「ぶらり門前膝栗毛」お檀家編集部員募集中！
私たちと一緒に、お寺巡りをしてくださる方を募集
しています。沢山の「応募お待ちしております」
お問い合わせ
青山文化村 TEL 03-3404-8588

今まで参加なさった事のないみなさま、次回はどうぞ一緒に
しませんか？
「お檀家さんと共に作り上げていくお寺」というご住職の思
いと、それを支えるスタッフの方々の熱い心に触れることがで
きた実りの多いぶらり門前膝栗毛でした。（文田沼ひとみ）

お楽しみの昼食は、イタリア料理をおいしく頂きながら和や
かな語らいの時間がゆっくり流れていった。帰り道では、全員す
っかりうち分け、又の再会を約束してお別れした。

今回初参加でお訪ねした傳通院。私には、幸田露伴・幸田文
が住んだ小石川蝸牛庵のすぐ近くにある由緒あるお寺くらしいの
知識がなかった。まず、上人より傳通院の縁起につい
てお話を伺い、その後本堂にて全員でお念仏を称え心を静めて
境内を散策。家康公の生母於大の方をはじめ、徳川家子女の墓
所、さらに知名の士の墓碑を案内して頂き暫し現実を離れ古人
に思いを馳せた。

時を経し於大の墓や花卯木

ぶらり俳句&作文



傳通院で長く塔頭寺院の住職や学頭を勤め、八宗泰斗と言われた福田行誠上人が、戒を守る律院とした処静律院に建てられた石柱。「お酒を飲んだり強い匂いの物を食べた者はこの寺に入るな」という意味の言葉が彫られている。



観音菩薩と勢至菩薩を従えるのがお地藏様という珍しい金仏の三尊像。これは阿弥陀様の前身である法蔵菩薩と地藏菩薩とが同体異名である説によるもの。

普通の寺の住職にあたる方を傳通院では貴主と呼び、現在の貴主は七十七代目。墓地には歴代の貴主の墓がずらりと並ぶ。

傳通院に 眠る女性たち

徳川家康公の生母於大の方を初めとして、傳通院にはなんと二十人の徳川家ゆかりの女性が眠っています。ちなみに男性は八人です。

さて、大奥で知られるように、將軍は何人も側室を持ち、女性たちは世継となる男の子を設けることに一生懸命だったのはご存じのとおりです。しかし、それは家光公以後、泰平の世での徳川各家お家争いの時代のこと。家康公、秀忠公の頃はまだ天下を治めることで精一杯でした。そんな家康公、秀忠公、家光公に関わる女性のお墓がここ傳通院に多く残っています。その立派さは、百聞は一見にしかず、どうぞお参りください。

ちなみに梅窓院という寺名は開基の青山家の戒名（法号）からとったものですが、於大の方の法号からは傳通院をはじめ三つのお寺がその寺名をもらっています。



於大の方の墓
(徳川家康の生母)
傳通院殿馨光岳智香大禪定尼
1528~1602
慶長7年 8月29日没



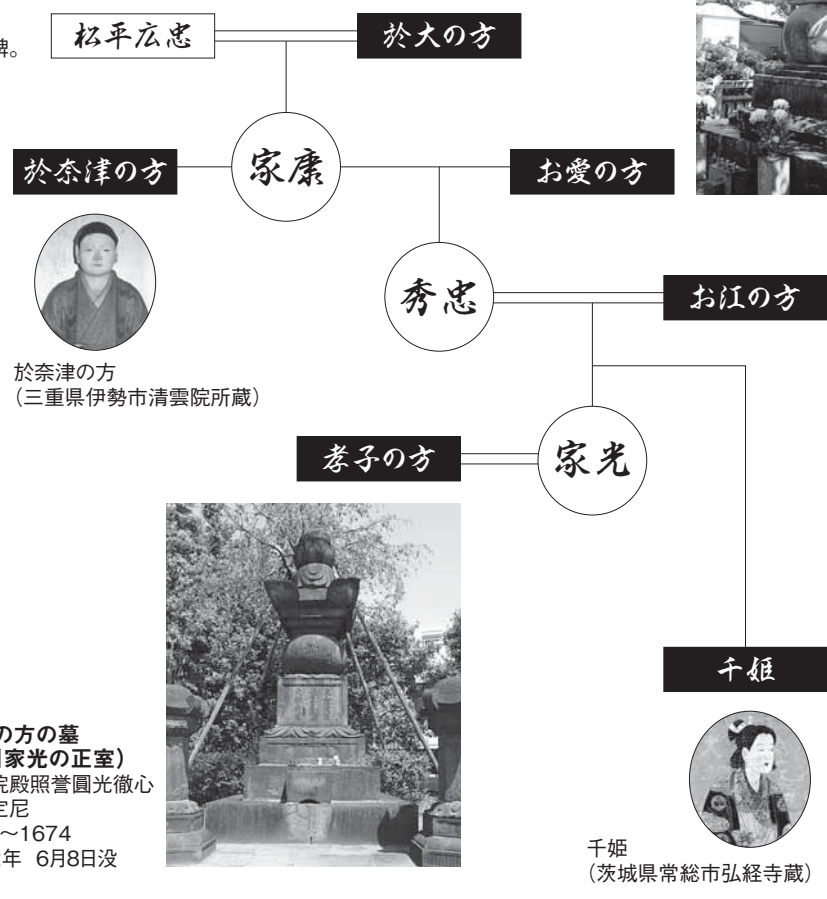
於大の方
(小石川傳通院所蔵)



お愛の方[西郷の局]の墓
(徳川秀忠の生母)
〔宝台院所蔵〕
宝台院殿一品大夫人
松譽定樹大禪尼
1552~1589
天正17年 5月19日没



於大の方のお位牌(中央)。向かって右が千姫のお位牌。向かって左が孝子の方のお位牌。



於奈津の方の墓
(徳川家康の側室)
清雲院殿心譽光質大禪定尼
1581~1660
万治3年 9月20日没

- 写真提供 ——
- 弘経寺(茨城県常総市)
 - 清雲院(三重県伊勢市)
 - 増上寺(東京都港区)
 - 傳通院(東京都文京区)
 - 宝台院(静岡県静岡市(五十音順))

孝子の方の墓
(徳川家光の正室)
本理院殿照譽圓光徹心大禪定尼
1602~1674
延宝2年 6月8日没



お江の方の墓
(徳川秀忠の正室で家光の母)
〔増上寺所蔵〕
崇源院殿昌譽和興仁清大禪定尼
1572~1626
寛文3年 9月15日没



千姫
(茨城県常総市弘経寺蔵)



千姫の墓
(徳川秀忠の長女)
天樹院殿栄譽源法松山大禪定尼
1597~1666
寛文6年 2月6日没



作家・佐藤春夫さんの墓。

傳通院にはこうした徳川家関係以外に各時代の有名人のお墓が建っています。尊王攘夷の志士・清河八郎正明、明治大正期の評論家・杉浦重剛、大正昭和期の作家・佐藤春夫、昭和時代の作家・柴田錬三郎、昭和時代の画家・橋本明治、といった具合です。取材当日も大型バスでの見学ツアーと一緒にりましたが、江戸時代から現代までのお墓めぐりはいかがでしょうか。また、傳通院は小石川の高台にあり、近くには後樂園や植物園もあり、一日楽しめます。

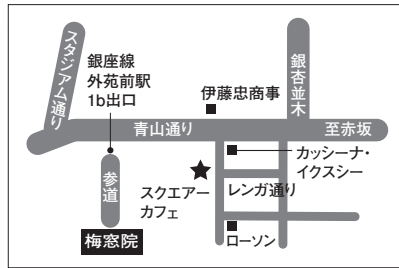
傳通院に お墓のある有名人

スクエアカフェ

おもてなしの気持ちでやさしい時間を

1月にリニューアルオープンしたばかりの店内は、お客様とふれあえるオーブンキッチン始め、シエラの「お店は体の一部」という言葉通り、テーブルや椅子、装飾など細部に渡ってその熱い気持ちが込められている。

ランチプレートは新鮮な野菜やお肉料理で彩られ、シンプルでありながら和と洋の織りなす豊かな風味にほっと溜息がこぼれる。



営業時間 / 8:30~23:00 (L.O.22:00)
 ランチ 11:30~17:30
 デイナー 18:00~ 23:00 (L.O.22:00)
 定休日 / 月曜日
 総席数 / 26席 (立食時35名まで)
 住所 / 東京都南青山2-22-2 クインビル1F
 TEL / 03-3478-7727



◀ランチセットは1,050円〜。写真は1,600円のセット。これにフルーツが付きます。



▶パエリアはこのお店の看板メニュー。具たくさんで大満足!



◀かわいらしい入口が目印。

モーニングからランチ、ディナーまで、いつでも温かく迎えて下さるのは郡上近頃の出身のオーナーとスタッフの皆さん。梅窓院の郡上おどりを楽しみに行っているそうです。

●ご紹介者より
 今回のお店は、お檀家のさんから御紹介いただきました! 『シエラはよく手に籠を持って青山の草花を摘んでいらつしやるそう。そんなシエラで作るお料理は美味しくボリュームも満点。是非皆様に訪れてほしいお店です。』

青山俳壇

選者「ウエップ俳句通信」編集長

大崎紀夫

◎特選

○お涅槃の日なりつむりを剃ることに

◎入選

○程の良き塩味の葉の桜餅

○男手にしては上出来木の芽和へ

○この春のスペイン旅行喜寿迎へ

○野仏のそばで弁当遠足児

○音立てて海老天揚る寒の明け

○ふきのたう探して歩く土手の道

○さくら見るきりに生まれかはるとも

○春雷を遠くに雨の匂ひけり

◎選者詠

○船の灯の橋ぐりくる花の雨

大崎 紀夫

◀ワンポイントアドバイス

「付き過ぎ」という言葉があります。これは、句に詠まれている事柄と季語が、余りにピッタリ合過ぎていて、万事メダシメダシという場合をいいます。例えば「風吹いて猫が炬燵で丸くなる」という句があるとしたとき、「猫が丸くなる(眠る)」という事柄と「炬燵」という季語が合い過ぎているといえるでしょう。さらに「風が吹いて(寒いので)」「猫が暖かい炬燵で丸くなる」と原因と結果もはっきりしていて、万事メダシです。読む方は、あ、そうか、終わってしまします。そこで「付かず離れず」という季語の使い方が問題になってくるわけです。

投句募集

今回は「夏の季語」でご自由にお詠み下さい。7月6日を締切り、9月発送の『秋彼岸号』にて発表致します。住所、氏名をお書き添えの上、ご応募下さい。皆さまの投句をお待ちしております。
 〒107-0062 港区南青山2-26-38
 梅窓院「青山俳壇」投句募集係

「やぶれ傘」会員募集

青山俳壇の選者、大崎紀夫先生による俳句の会です。ご興味のある方は、下記の番号までご連絡下さい。
 ウエップ編集室
 電話03-5368-1870

第三十五回 食は命

赤いトマトは 医者いらす

武鈴子 食養研究家

梅雨明けから晩夏にかけて日本各地で夏祭りが行われます。夏祭りの代表ともいえる京都・八坂神社の祇園祭りも、もともとは無病息災を祈り、疫病除けの神とされる牛頭天王(天竺の祇園精舎の守護神)を祀ることからはじまりました。こうした祭りを通して神仏にお願いしなければならぬほど、日本の夏は過ごしにくく、私たちの体も弱りやすいのです。

炎暑の夏場はどうしてもノドが渇いて、水分をとりすぎるきらいがあります。冷たい水分のとりすぎは胃腸と手足にあらわれて、消化不良を起こしたり、お腹をこわしやすく、手足もだるくなりやすい。かき氷や冷たい飲料水の飲みすぎが夏バテを招いているのです。

スイカやトマト、きゅうりなどの夏が旬の食べ物は、暑さでほてった体を冷やすと同時に、汗で流れた水分やミネラルを補給する大切な役割を持っています。たとえば夏野菜の代表トマトは、「トマトが赤くなると医者が青くなる」ということわざがあるほど、古くから薬効のある食べ物として重宝されてきました。古書にも「体液を生じ、渴きを止める。胃を健やかにして、消化を助ける」と書かれています。夏の発汗による口の渇きや、夏バテで食欲がなく、胃が疲れているときなどにはぴったりの食材です。胃腸が喜ぶトマトサラダのレシピ。

.....
 トマトは皮ごとザク切りにして冷やしておく。玉ねぎをみじん切りにして甘酢に浸け、冷蔵庫でよく冷やしておく。器にトマトを盛り、甘酢玉ねぎをたっぷりかけていただく。

行事予定

第47回 念仏と法話の会

6月19日(金)

受付開始 午前12時～

別時念仏/法話/茶話会

法話講師 佐賀教区 鏡智院
中村 一之 上人



郡上おどり in 青山

6月27日(土)～28日(日)

物産店 午後2時～8時半

おどり 午後5時～8時半

※最終日は午後8時まで。



盂蘭盆会法要

7月13日(月)

午前10時半より 本堂

※詳細は3面をご覧ください。

施餓鬼会法要

7月21日(火)

午前11時より 本堂

※詳細は3面をご覧ください。



発行/梅窓院
発行日/平成21年6月1日
発行人/中島 真成
編集/青山文化村
住所/〒107-0062
東京都港区南青山2-26-38
電話/03-3404-8447
FAX/03-3404-8446
ホームページ/http://www.baisouin.or.jp/
E-Mail/jodo@baisouin.or.jp
題字/中村康隆前浄土門主
総本山知恩院第八十六世門跡
表紙写真撮影/青山幸文

平成21年度 前期 仏教講座のご案内

全講座▶午後6時～8時 受講料▶無料 場所▶祖師堂(B2F)

講師/林田 康順 先生(大正大学准教授、大本山増上寺布教師、慶岸寺副住職)

講題/法然上人のみ教え 一入門編一

第2回…6月15日(月) お浄土① 一俱会一処一

第3回…9月28日(月) お浄土② 一指方立相一



講師/勝崎 裕彦 先生(香蓮寺住職 大正大学教授)

講題/仏・菩薩 一その教えと信仰

第1回…6月25日(木) 十大弟子の教え

第2回…7月23日(木) 羅漢さまとその信仰

第3回…8月20日(木) 高僧に倣いて



講師/新井 俊定 先生(天然寺住職 大正大学出版会主管)

講題/一遍上人の教え

第2回…8月 4日(火) 一遍上人の生涯(遊行、賦算)

第3回…9月18日(金) 一遍上人の教え(念仏、踊り念仏)



講師/阿川 正貫 先生(浄土寺住職 大正大学講師)

講題/中国の宗教状況の一例

第3回…8月10日(月) 遼寧省(旧満州)農村の春節

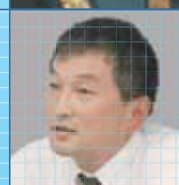


講師/本林 靖久 先生(真宗大谷派僧侶 大谷大学・佛教大学講師)

講題/生と死の民俗 一産育儀礼をめぐって一

第2回…7月17日(金) 誕生儀礼

第3回…9月 4日(金) 成人儀礼



お知らせ

消防訓練

梅窓院では2月20日(金)に赤坂消防署の指導と監修のもとに消防訓練を行いました。



今回の「ぶらり門前膝栗毛」は6名のお檀家編集員の方に集って頂くことができ、にぎやかな膝栗毛となりました。傳通院の上人の丁寧な説明とともに、気持ちの良い春の小石川を満喫して参りました。お檀家編集員まだまだ募集中です！

(智)

編集後記